

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 17 日現在

機関番号：35413

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：平成22～平成24年度

課題番号：22659436

研究課題名（和文）

外国人旅行者の日本滞在中の受診行動に関する心配要因分析と情報提供
アニメDVD開発

研究課題名（英文）

Concerning Visits to a Hospital among Foreign Visitors in Japan;
Creating an Anime Multiple-language DVD

研究代表者 西川 まり子 (NISHIKAWA MARIKO)

広島国際大学 看護学部看護学科 准教授

研究者番号：80412344

研究成果の概要（和文）：

本研究の目的は、日本への外国人旅行者が受診、入院した時の心配要因を明らかにし、支援するための多言語アニメ DVD を開発することである。成田空港で外国人旅行者 1343 名に 7 言語（英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語、韓国語）と、8 県の看護師 627 名を調査し、日本滞在中の受診に対する心配要因を明らかにした。その結果をもとに、多言語アニメ DVD を開発し、試写会でその有用性が示唆された。

研究成果の概要（英文）：

The aim of this research was to analyze hospital visits among foreign visitors in Japan and to develop a multiple-language DVD for guidance. We collected data from questionnaires in seven languages, (English, French, German, Spanish, Italian, Chinese and Korean) from 1343 foreign visitors at Narita International airport and 627 Japanese nurses in eight prefectures. After analyzing the responses, we created an anime multiple-language DVD that provides critical information about Japanese public health and medical procedures to follow, in addition to overcoming cultural differences. The preview reveals that this technique of information exchange of using anime in a DVD is most helpful to the visitors as well as Japanese health professionals.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,200,000	0	1,200,000
2011年度	700,000	210,000	910,000
2012年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	2,800,000	480,000	3,280,000

研究分野：医師薬学

科研費の分科・細目：看護学・地域・老年看護学

キーワード：国際看護，外国人旅行者，心配要因，受診行動，情報提供，アニメ DVD

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

1. 研究開始当初の背景

わが国は、外国人旅行者推進戦略により、2008年の外国人観光客が約915万人と過去最高を記録し、最近では街のいたるところで外国人旅行者を見かけるようになった。この状態は今後もさらに続くと思われる。その外国人旅行者の受診で、以下のような問題がある。(1)外国人旅行患者が早期の退院や帰国を希望する中、言語や医療を含めて、医療スタッフは退院にむけて特例的な努力を強いられている。(2)外国人旅行患者で、国や地域によっては、日本の医療機関で医療の信頼性や感染の不安要因がある。(3)日本の医療や保険のシステムがわからず、又は支払いが困難なための医療費の滞納がある。言語コミュニケーションの難しさから、医療従事者の中から、外国語の堪能な職員の配置や通訳等の必要性が指摘がされているが、現実的には多くの医療機関で一人一人の患者へ外国語で対応することは困難で、必死のジェスチャーなどで対応を迫られている。さらに、文化の違いからアイコンタクトの不明瞭さ、説明の不十分さや日本の医療システムへの戸惑い等への一人一人に対する多言語での対応も時間を要する。特に地方都市の観光地では困難である。この対策に通訳以外の方法が論じられていることは少ない。

2. 研究の目的

本研究は、年間約1000万人にも及ぶ日本への外国人旅行者が病気やけがで受診、入院した時の心配要因を明らかにし、支援するための多言語アニメDVDを開発することを目的としている。そのために、(1)成田空港出国フロアで世界中からの外国人旅行者の日本滞在中の受診に対する心配要因と、(2)その旅行患者をケアする病院側の心配要因を明らかにし、(3)両方のデータの分析、検証をする。(4)成果発表からの評価を受ける。(5)多言語アニメDVD研究開発をする。

3. 研究の方法

(1)外国人旅行者の調査は、自記式質問紙を用い、成田空港で7カ国語による、延べ1343名(英語623, フランス70, ドイツ63, スペイン37, イタリア6, 中国63, 韓国111+パイロットテスト351名)に実施。(2)看護師は延べ627名(北海道, 神奈川, 愛知, 岐阜, 大阪, 京都, 兵庫, 広島)の8県のファーストレベル管理職研修参加者。(3)質問票は論文から本研究用に修正を加え、命名したMari Meterと、自由記述で、その内容は、15項目(図1・図2)による受診行動に対

する外国人旅行者と医療提供側の不安要因である。(4)その両方の調査結果の分析は、統計ソフトのJMP6.0.3, 言語分析ソフトのText Mining Studio3.1を使用。さらに外国人旅行者, ケア提供側の両方を照合し, 分析。

(5)その成果を学会・論文発表し, 広く意見を仰いだ。(6)さらに, 外国人旅行患者用向け支援用マンガDVD開発。(7)外国人旅行者とケア提供者の両方へDVD試写会, ヒヤリングを実施。

4. 研究成果

(1)日本への外国人旅行者と看護師の外国人患者受診, 入院時の心配要因を標本集団から明らかにした。その調査は, 7カ国語による外国人旅行者の調査データ, 延べ1343名と看護師, 延べ627名。看護師の内, 約93%が外国人のケアの経験があり不安が非常に強いこととケアが十分行き届かなかったことを後悔している。Mari Meterからは, 最も心配の大きい3項目は外国人旅行者(図1), 看護師(図2)とも言葉, 支払い, インフォームドコンセントであった。外国人は医療者の関係や, 病院内の案内も心配されていた。日本の看護師の多くが心配しているライフスタイルの違いは, 外国人にとって心配は低く, 反対に感染症の心配は外国人に高かった。自由記述の言語分析から, 看護師は, 通訳について必要時にすぐに整うことや, 文化やライフスタイルの違い, 患者から要望を伝えてほしいという希望があがっていた。外国人の自由記述による言葉頻度分析(図3)からは日本語が話せないこと, 保険やヘルスシステム, 医療者からの説明は心配していたが, 日本の医療の質はよいと考えているという言葉がみられた。看護師(図4)からは, 言葉, 英語以外の言語, 理解, 説明, 準備等の心配がみられた。

(2)この結果を2011年3月, マレーシアのPublic Health Nursing学会で発表した。さらに2011年5月にICNマルタ学会, 2012年3月にイギリス主催のInternational Online Medical Conference, 2012年11月, スペインの国際看護研究学会で発表し, 質問, 意見や助言を得た。

(3)これまでの調査と学会発表での質問や助言をもとに, 英語, フランス語, スペイン語, 中国語, 日本語の5言語を選択できるMariInfoと名付けた18分程度のアニメ動画DVDを開発した。内容は心配要因の高い順に作成し, 特に言葉, 支払い, インフォームドコンセントについてはその対策を詳しく解説をした(図5)。

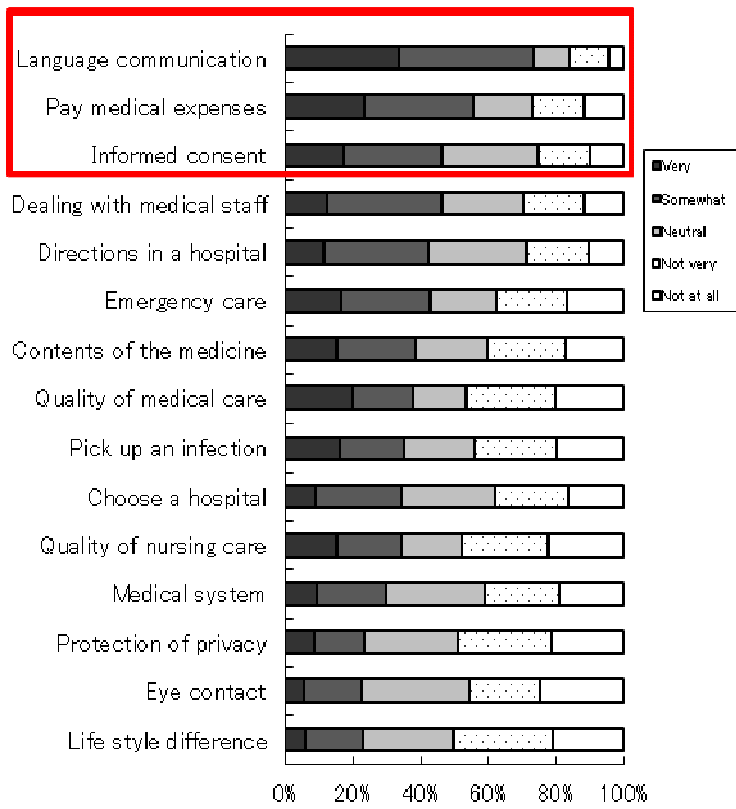


図1 外国人の心配要因

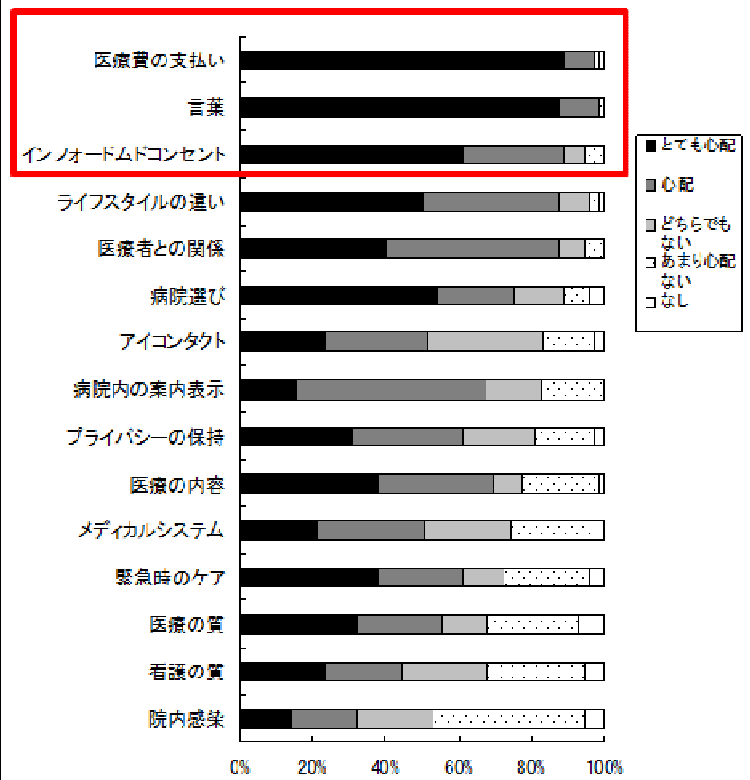


図2 看護師の心配要因

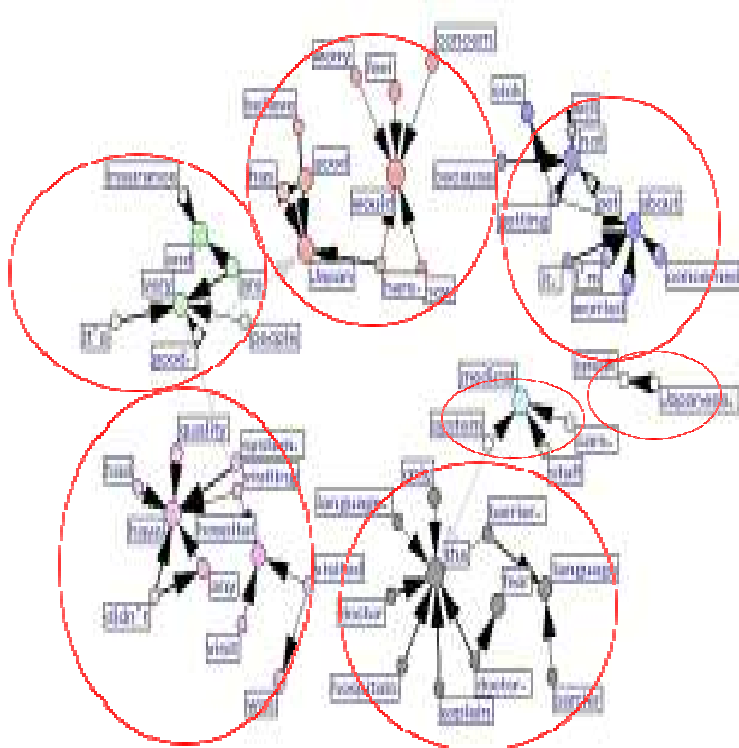


図3 外国人の言葉ネットワーク分析

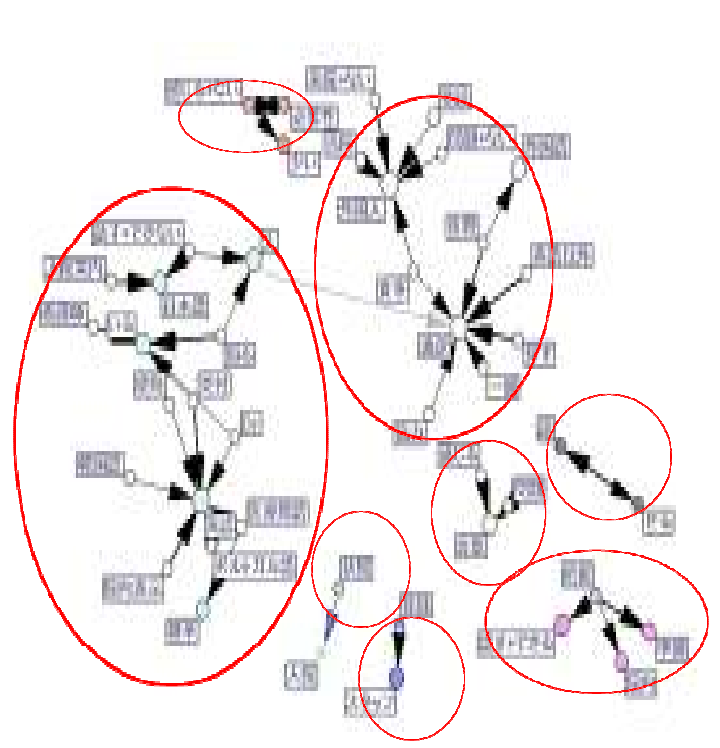


図4 看護師の言葉ネットワーク分析

(4) さらにそのコンテンツの質を高めるための試写会とパイロットテストを実施し、修正した。このアニメ動画DVDと外国人の使用頻度の高い既存のガイドブックに記載されている日本のヘルス情報との比較をRCT（無作為ランダム調査）で実施予定。

(5) 意識と重要性は、2011年度の調査結果分析により、日本への外国人旅行者と看護師の受診、入院時の心配要因を標本集団から明らかにした。その結果を広く海外で発表し、助言を得て、最終的に英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語の5言語から選択が可能なアニメDVDを開発した。そのパイロットテストの結果、外国人からは、この情報提供は親切で、役に立つという高い評価を受けている。本研究の結果は、日本を訪れる外国人の事前準備支援として活用性が高いことが示唆された。さらに看護師の心配要因の軽減に役立てることができる。



図5 動画による日本のヘルス紹介

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計1件)

- ① 西川まり子, 木村誠子, 芥川清香, 津田右子, 井筒潤子, 久米絢弓、国際看護—小さなマルタ共和国の質の高いヘルスケアと看護への挑戦, 2011, 広島国際大学ジャーナル, 査読有, Vol. 9, No1, pp. 53-59.
<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/handle/harp/10296>

〔学会発表〕(計7件)

- ① Nishikawa, M., Niiya, K., Okayasu, M., Tsuda, Y., Kume, A., Yamanaka, M., Nakayoshi, Y., Sugino, M.(2013). Equality in Access to Health Care for Non-English Speaking International Visitors to Japan, the International Council of Nurses, Melbourne,

Australia.

- ② Nishikawa, M., Niiya, K., Tsuda, Y., Yamanaka, M., Kimura, M., Nakayoshi, Y., Sugino, M., Ishii, N. & Tsunawaki, S.(2012). Issues Relating to the Health Care System in Japan for International Visitors. Cartagena, Spain.
- ③ Nishikawa, M. & Akutagawa, K. (2012). Investigating the Perception of Health Care System in Japan by International Visitors, 5th International Online Medical Conference (IOMC2012), the UK.
- ④ Nishikawa, M., Izutsu, J., Kimura, M., Akutagawa, K. & Kume, A. (2011). Addressing Practical Issues Related to Nursing-care for International Visitors to Japan, Public Health Nursing Conference 2011, Kuching, Malaysia.
- ⑤ Nishikawa, M., Izutsu, J., Arai, M., Kono, U., Kimura, M. & Akutagawa, K. (2011). The Concerning of Nursing Care for International Tourists in a Practical Context in Hiroshima, Public Health Nursing Conference 2011, Kuching, Malaysia.
- ⑥ Nishikawa, M., Kimura, M. & Akutagawa, K. (2011). Nursing Issues Relating to the Provision of Health Care to Foreigners in Japan, the International Council of Nurses, Valletta, Malta.
- ⑦ Nishikawa, M., Izutsu, J., Arai, M., Kono, U., Kimura, M. & Akutagawa, K. (2011). The Perception of Nursing Care for International Visitors in a Practical Context in Hiroshima, the International Council of Nurses, Valletta, Malta.

〔図書〕(計3件)

- ① 西川まり子, 株式会社医学映像教育センター, 目で見ると国際看護—国際看護の現状, 2012, DVD.
- ② 西川まり子, 株式会社医学映像教育センター, 目で見ると国際看護—グローバルヘルス, 2012, DVD.
- ③ 西川まり子, 株式会社医学映像教育センター, 目で見ると国際看護—グローバルヘルスに関する国際機関, 2012, DVD.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

西川まり子 (NISHIKAWA MARIKO)
広島国際大学 看護学部看護学科・准教授
研究者番号：80412344

(3) 連携研究者

二井矢清香 (NIIYA KIYOKA)
(旧姓 芥川清香)
広島国際大学 看護学部看護学科・准教授
研究者番号：80364181

岡安誠子 (OKAYASU MASAKO)
(旧姓 木村誠子)
島根市立大学 看護学部・講師
研究者番号：30346712

山中仁明 (YAMANAKA MASA AKI)
広島国際大学 工学部情報通信学科・講師
研究者番号：00352047